

ライフステージと発達に応じた自転車安全教育



CCSP(一般社団法人 市民自転車学校プロジェクト)は、「世代に応じた自転車安全教育の開発と提供」を行っています。

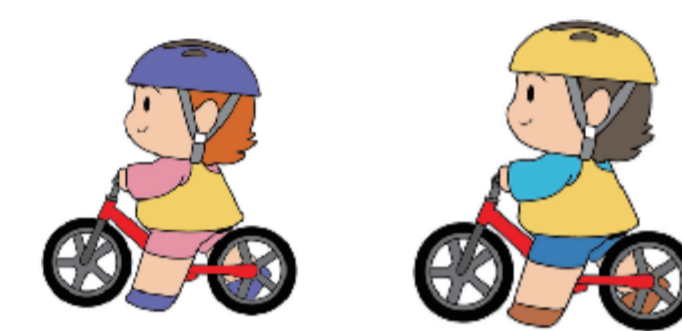
自転車安全利用のゴール

どの年齢層においても
意識せずに安全行動が取れる
能力を養う

ライフステージと発達に応じた教育で
事故に遭わないための知識・技能を
身につけることが必要

※当たり前前の交通ルールだけでは不十分

自転車安全教育を考えるポイント



6W1H

5W1H
(いつ、どこで、誰が、何を、どのように)
+
ターゲットを意識した
Whom(誰に)

地域特性

地域の交通環境や
事故発生状況に
則した教育が必要

年齢特性

関心ごとを捉え、
気になるワードの
理解を高め、
納得から腑に落とす

ライフステージと発達に応じて伝える手法を工夫

幼児

遊びながら学ぶ(自転車ゲーム)
空間認識能力を
身につける



児童～学生

身近なこと=他人事から**自分事**へ
知識レベルに応じて
意識変化から行動変容へと導く



地域の自転車関連事故発生箇所

高齢者

遊びながら学ぶ(自転車ゲーム)
身体能力を自ら認識して
事故に備える



結論と今後の展開



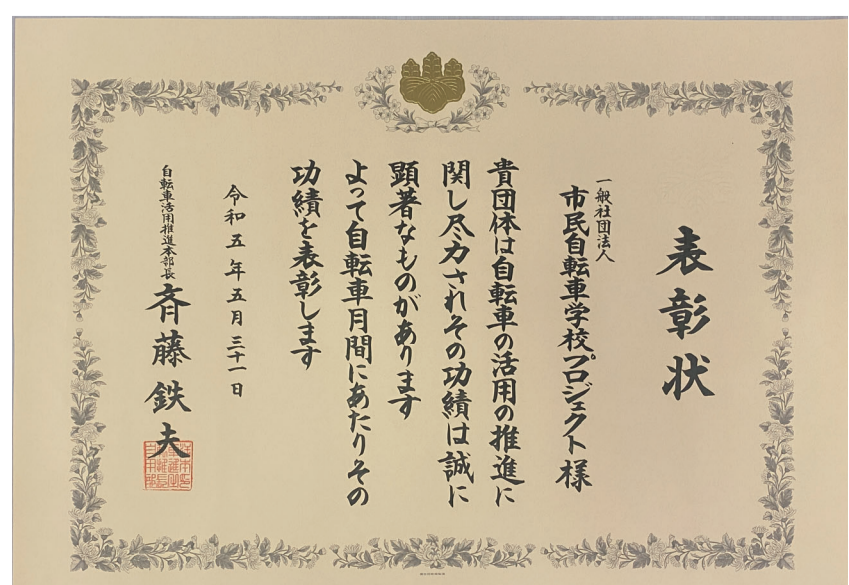
豊かな人生に必要な移動の自由を得るため
どの年齢層においても、社会規律や能力を
常に更新し続けることが必要

学習環境整備が
社会に
求められている

私たちは、自転車を含む「交通教育」を
生涯にわたり学び続けることで得られる
豊かな人生へのサポート役としての活動を
今後も続けていきます。

令和5年度 自転車活用推進功績者表彰

・自転車の活用推進に関し
特に顕著な功績があると
認められる団体として
表彰されました。



問合せ先

一般社団法人 **CCSP**
市民自転車学校プロジェクト
Citizen Cycle School Project

〒555-0013
大阪市西淀川区千舟1-1-1 4F あおぞら財団内
TEL : 06-6475-8885 URL: <http://www.ccs.jp/>